

## 東京経済大学陸上競技部メールニュース 2023-9 (2023.10.21)

第 100 回箱根駅伝予選会結果 10月14日 立川



### <結果>

総合 29位 10時間55分55秒

小山	優輝(3)	64'	30	
下田	大翔(3)	64'	34	
曾根	直也(2)	65'	21	自己新
西川	勇誠(2)	65'	25	自己新
村田	悠樹(4)	65'	41	
下津	開生(3)	65'	44	自己新
本田	大和(3)	65'	46	自己新
松浦	礼穂(4)	65'	58	自己新
内田	翔也(2)	66'	09	自己新
蟹江	達樹(4)	66'	47	自己新
村松	丈(2)	67'	03	自己新
高橋	将英(4)	67'	37	自己新



岡本学長ご挨拶



北山部長挨拶



選手代表・小山

前年の大きなアクシデントによる大惨敗から 1 年、一人のエースに頼らずに選手一人一人の力の結集で箱根出場を目指すという目標の下、強化に努めて参りましたが残念な結果に終わってしまいました。

しかしながら、個人成績を見るとトップの小山が 64 分 30 秒、10 番目の蟹江が 66 分 47 秒と 2 分 17 秒の中で 10 名が走り切れたこと、昨年から総合タイムで 13 分短縮できたことは来年に繋がる結果でもありました。今回の出場ボーダーの山梨学院大学（10 時間 39 分 47 秒）まであと 16 分差、一人あたり 1 分 30 秒のレベルアップで出場も夢ではありません。それだけ各大学間の力が拮抗しています。

「練習は厳しい」しかし、他のチームはその厳しい練習を当たり前のようにこなしこの激戦の箱根駅伝予選会を勝ち抜いていきます。このことを部員一人一人が胸に刻み強い気持で 1 年間やり抜けば強い選手へと成長できます。

引き続き応援の程よろしくお願い申し上げます。

**<過去 10 年間のチーム結果>** ※第 94 回大会までは 20km で実施、第 95 回大会からハーフマラソンに変更

2014 年（平 26 年）	10 月 18 日	91 回	10 時間 47 分 15 秒	24 位	
2015 年（平 27 年）	10 月 17 日	92 回	10 時間 47 分 01 秒	25 位	※吉村匠学生連合で出場
2016 年（平 28 年）	10 月 15 日	93 回	10 時間 47 分 45 秒	26 位	
2017 年（平 29 年）	10 月 14 日	94 回	10 時間 45 分 55 秒	28 位	
2018 年（平 30 年）	10 月 13 日	95 回	11 時間 16 分 56 秒	27 位	
2019 年（令 1 年）	10 月 26 日	96 回	11 時間 16 分 21 秒	20 位	※森陽向学生連合に選出
2020 年（令 2 年）	10 月 17 日	97 回	10 時間 50 分 15 秒	24 位	※大川歩夢学生連合で出場
2021 年（令 3 年）	10 月 23 日	98 回	10 時間 54 分 36 秒	20 位	
2022 年（令 4 年）	10 月 15 日	99 回	11 時間 08 分 49 秒	28 位	
2023 年（令 5 年）	10 月 14 日	100 回	10 時間 55 分 55 秒	29 位	（関東 28 位）

※第 94 回大会までは 20km で実施、第 95 回大会からハーフマラソンに変更

## <選手コメント>

### ☆小山 優輝 (3)



2年連続でチームトップの走りでしたが、他大学のエースとは大きな差を感じ、チーム順位も落としてしまいました。来年は他大学のエースと戦えるように、覚悟を持ってチームを引っ張っていきます。

### ☆下田 大翔 (3)



応援ありがとうございました。久しぶりのハーフで緊張している中のレースでしたが、良いレースができました。来年の予選会に向けての課題も見つかり、これからの練習でしっかり克服していきたいです。

### ☆曾根 直也 (2)



初めての予選会でしたが、力を振り絞り目標タイムより速く走ることが出来ました。個人としては満足する結果でしたがチームとして、箱根駅伝出場に向け実力不足だと感じました。実力をより身に付け、箱根駅伝出場に向けこれからも頑張っていきます。

### ☆西川 勇誠 (2)





予選会に初めて出場させていただきやはり周りとの大学との力の差を見せつけられたように感じました。スタッフの人や家族に感謝して来年はもっと力をつけて上のレベルで戦えるようになります。ありがとうございました。

☆村田 悠樹 (4)



多くのご声援ありがとうございました。

チームのエースとして臨みましたが、自分の力を発揮できず、悔しいレースとなりました。

この悔しさは走りでしか取り返せないなので、上のステージで戦えるよう今後も精進していきます。

4年間ありがとうございました。

☆下津 開生 (3)



29位という結果に終わり、悔しさと不甲斐なさを感じたレースでした。しかし、例年の個人成績と比較すると10人の平均は決して悪くなかったと思います。上の選手との差が埋まりつつあるという点は明るい材料だと感じました。

☆本田 大和 (3)



今年は練習が上手くこなせていたので、自信をもってスタートラインに立ちましたが自分の100%の力を結果にすることができず悔しい気持ちでいっぱいです。来年はさらにレベルアップをしてチームに貢献できるように頑張っていきます。

☆松浦 礼穂 (4)



今年が最後の予選会となり、2年ぶりの出走で2年前の予選会では個人の記録としても悔しい結果でおわりました。最後の予選会で2年前の自分自身にもリベンジできるよう、これまで行ってきた練習の成果を発揮し、最後に悔いなく終われるように精一杯頑張りました。

☆内田 翔也 (2)



今回の予選会では周りとのレベル差に驚きました。しかし、自分が成長できている事も知れて、これまでやってきた事は間違いではないと思いました。 来年はさらに強くなって挑戦します。

☆蟹江 達樹 (4)



1か月前にコロナに感染してしまい、そこから体の状態を仕上げていったため、万全な状態では挑めませんでしたが、その中でも当日は持てる力を全て出し切ることが出来たと思います。私は競技を終えてしまいましたが、後輩たちにはこの経験を糧に来年以降も予選会突破を目指して頑張ってください。

応援ありがとうございました。

☆村松 丈 (3)



今回で二度目の予選会となりましたが、今回も悔しい走りとなってしまいました。ハーフマラソンは甘くないと改めて感じる事ができました。まだ自分は2年生であると2回走るチャンスがあるのでしっかりリベンジできるようにしたいと思います。

#### ☆高橋 将英 (4)



4年次で最初で最後の箱根駅伝予選会でしたが、不甲斐ない結果に終わってしまい残念な気持ちもあります。ですがこれまでの4年間の継続や努力は自身の人生においてかけがえのないものになったと思います。本当にたくさんの応援ありがとうございました。

#### <井村監督コメント>



10月14日に行われ予選会では現地に沢山に方々に応援に来ていただきありがとうございました。

結果は10時間55分55秒で29位に終わりました。コロナ感染の影響でベストメンバーが組めず厳しい戦いは予想していましたが、順位としてはその予想を超えた厳しいものになってしまいました。

しかしながら例年と比べ大崩れする選手はおらずまとめられた印象はあります。今回は気象コンディションが良く、戦前予想していたペースより速い展開でレースが進み、そこに対応できませんでした。戦略のミス、そして完全に力不足の結果だと感じています。

来年の箱根駅伝予選会に向けての対策として速いレース展開に対応できる走力、箱根駅伝予選会という舞台で力を発揮できる精神的強さが必要と感じております。

そのためには練習の質・量共に増やす必要があると思いますが、まずは日々当たり前のことを当たり前にやることを徹底する基本的なことからチームを立て直していきたいと思っております。

今後ご支援の程よろしくお願い致します。